

第3号

# 群大病院 地域連携だより

## 病院の理念

患者さん中心の医療を推進する

## 基本方針

- 一、 高度先進医療の開発と実践
- 一、 次代を担う医療人の育成
- 一、 地域医療への貢献

## アスベスト外来・中皮腫外来を開設しました

群馬大学医学部附属病院では、このほどアスベスト外来と中皮腫外来を開設しました。

アスベスト外来は呼吸器アレルギー内科1(第一内科)、中皮腫外来は呼吸器外科1(第一外科)が担当し、どちらも毎週金曜日の午後1時から3時までです。原則として予約制ですので、ご紹介いただく場合、または直接受診を希望される場合は、事前に電話で連絡をお願いします。電話連絡いただいた方には問診表をお送りしますので、予約日に持参してください。予約日は追って連絡させていただきます。なお、初診の方は、問診に時間がかかりますので、予約は1日4～5人とさせていただきます。

なお、アスベスト外来はアスベストを吸ったことによる病気の心配がある方、中皮腫外来はレントゲンで胸水がたまっている人や胸膜の肥厚があると言われ中皮腫が心配な方が対象です。どちらの外来に受診したらよいか迷った場合は、右の表を参考にしてください。

連絡先: ☎027-220-7827 医療サービス課  
受付時間は平日の8時30分から17時まで

ア ス ベ ス ト 外 来	<p>アスベストを吸ったことによる病気の心配がある方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスベストを吸ったことがある</li> <li>・ アスベストを扱う仕事をしていた</li> <li>・ 近くにアスベストを扱う工場があった</li> <li>・ じん肺かどうか心配</li> <li>・ 胸部レントゲンでじん肺と言われた</li> </ul>
中 皮 腫 外 来	<p>レントゲンで胸水がたまっている人や胸膜の肥厚があると言われ中皮腫が心配な方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近呼吸が苦しい</li> <li>・ 胸水がたまっていると言われた</li> <li>・ レントゲンで胸膜が肥厚していると言われた</li> <li>・ 胸に異常な影があると言われた</li> </ul>

## 高度先進医療のご案内

### 承認件数ただいま10件

高度先進医療は、未だ一般の保険診療に取り入れられていない先端的医療を、保険診療をベースに患者さんが特別な料金を負担することにより受けられる制度です。

高度先進医療を取り扱うには、医療スタッフや施設・設備等の条件を満たし、厚生労働省の承認を受けることが必要です。平成17年11月現在、109種類の高度先進医療が承認されており、群馬大学病院では、その内、下表の10件が承認されています。

高度先進医療に係る費用(下表料金)は、患者さんの自費負担となりますが、それ以外の通常の治療と共通する部分(診察・検査・投薬・入院料等)の費用は、一般の保険診療と同様に取り扱われます。

高度先進医療は、一般的な診療を受ける中で、患者さんが希望し、医師がその必要性と合理性を認めた場合におこなわれます。希望される場合は担当医にご相談下さい。

また、詳細について知りたい場合は、担当科にお問合せください。



高度先進医療承認診療行為名	担当科	料金(円)	承認日
神経変性疾患のDNA診断	神経内科	15,800	2003/08/04
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	第三内科	30,600	2004/10/29
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	第一外科	152,400	2004/10/29
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	皮膚科	83,800	2004/11/10
骨髄細胞移植による血管新生療法	麻酔科蘇生科	160,600	2004/11/10
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	第一外科	108,800	2005/01/27
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	核医学科	57,600	2005/01/27
	整形外科		
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	核医学科	118,600	2005/01/27
	整形外科		
インプラント義歯	歯科口腔外科	189,200	2005/03/17
腹腔鏡下肝切除術	第一外科	173,700	2005/03/31

### 病病・病診連携って何？

病院と病院、病院と診療所、あるいは診療所間で情報交換を積極的に行い、必要に応じて患者さんをお互いに紹介しやすくするための仕組みです。

今までも患者さんの紹介はたくさん行われていますが、連携を通じて、より受診しやすく、患者さんにとって安心できる紹介が可能になります。

### 患者にとって良いところがあるの？

- 紹介元の医療機関の情報が詳細にわかるので、安心して群大に受診できます。
- 病状が安定した患者さんについては、逆紹介により地域の先生に診療をお願いするので、通院が楽になります。
- 紹介元と連携がしっかりしているので、必要なときに逆紹介してもらえます。
- 群大病院の混雑が緩和され、群大病院の受診が楽になります。

## 群大病院では 病病連携・病診連携を推進しています



### 病病連携・病診連携 Q&A

#### 群大病院での診療ができなくなってしまうことが心配？

連携がしっかりしているので、かかりつけの先生が必要と考えたときや、患者さんが希望される場合は、いつでも群大病院を紹介受診できます。

不測の事態が起こっても、救急部を受診できますので（24時間、365日）安心です。

#### その他どんなメリットがありますか？

- 群大病院を再診する患者さんの数が減ることにより、受診が必要な患者さんについて、じっくり診察することができます。
- 患者さんの混雑が緩和され、待ち時間が短くなり、駐車場の混雑が緩和されることが期待されます。
- 病診連携による情報交換をしっかりとすることにより、誤った情報による医療過誤を防ぐ効果が期待できます。
- 情報交換をしっかりとすることにより、重複する検査など不必要な診療が削減され、患者さんの負担は軽減し、医療費全体の節約にもなります。
- これらを通じて、地域における医療機関の役割分担がはっきりし、医療体制整備の面でも、また医療レベルの上昇の面でも大いに効果が期待されます。

#### 逆紹介先はどのように決定するのですか？

患者さんのご希望が最優先です。最も簡単なものは、紹介元の先生に逆紹介することです。しかし、地域性、専門性などから、別の医療機関を希望される場合もあります。群大病院では、群馬県医師会と共同で開発した「医療連携検索システム」を院内で活用できるよう準備中です。また、資料も用意してありますので、担当医とご相談下さい。

なお、特別な退院指導が必要な場合には、「医療福祉相談部」で対応していますので、お申し出下さい。



最近「病病連携・病診連携」という言葉をよく見かけられると思います。文字どおり医療機関が連携、協力しあって、その地域の医療体制を充実させることを意味しています。しかし、地域住民の皆様、特に病院を受診される方々に必ずしも十分にご理解をいただいているのが現状と思います。

群馬大学医学部附属病院にも病診連携センターが設置され、地域医療の発展のためにいろいろな事業を展開して行く予定ですので、この紙面によって皆様のご理解をいただけるよう、定期的に解説をさせていただくことにいたしました。

病病・病診連携は、健康上の問題でお困りの皆様が便利に、かつ安心して受診できることが大前提です。また連携がうまくいきますと、結果として医療の無駄を省くことができ、増大する医療費を抑制する効果も期待されています。

どうぞ、今後の紙面にご期待ください。

群馬大学医学部附属病院 病診連携センター長 田村 遵一